

平成31年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年11月13日

上場会社名 株式会社 光製作所
 コード番号 8191 URL <http://www.hikari-ss.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安岡 定二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 大久保 直樹

TEL 03-3800-0111

四半期報告書提出予定日 平成30年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|-----|-------|------|-------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第2四半期 | 4,528 | 3.7 | 1,233 | 16.1 | 1,265 | 16.2 | 880 | 29.5 |
| 30年3月期第2四半期 | 4,701 | 4.7 | 1,470 | 30.8 | 1,510 | 21.7 | 1,248 | 48.4 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第2四半期 | 248.88 | |
| 30年3月期第2四半期 | 352.76 | |

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年3月期第2四半期 | 53,138 | 46,441 | 87.4 |
| 30年3月期 | 52,154 | 45,673 | 87.6 |

(参考)自己資本 31年3月期第2四半期 46,441百万円 30年3月期 45,673百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | | 0.00 | | 40.00 | 40.00 |
| 31年3月期 | | 0.00 | | | |
| 31年3月期(予想) | | | | 40.00 | 40.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|-------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 9,500 | 0.2 | 2,751 | 7.2 | 2,791 | 7.8 | 1,781 | 4.8 | 503.50 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 31年3月期2Q | 3,740,000 株 | 30年3月期 | 3,740,000 株 |
| 期末自己株式数 | 31年3月期2Q | 201,679 株 | 30年3月期 | 201,679 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 31年3月期2Q | 3,538,321 株 | 30年3月期2Q | 3,538,605 株 |

当社は、平成29年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|--------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期損益計算書 | 5 |
| (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 | 6 |
| (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (追加情報) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に緩やかな回復基調を維持しました。しかしながら、相次いだ台風などの自然災害の発生、海外においては米中の貿易摩擦の拡大等の影響から、依然として先行きは不透明な状況にあります。

当家具・インテリア業界におきましては、個人消費は本格的回復傾向が見られず、厳しい状況が続いております。

この結果、売上高は、4,528,662 千円(前年同期の 96.3%)となりました。

セグメント別売上高は、家具商品部門は、1,864,878 千円(前年同期の 88.0%)、不動産賃貸部門は、2,570,122 千円(前年同期の 103.4%)、その他部門であるプラスチック成型品は、93,662 千円(前年同期の 98.5%)となりました。

一方、利益面におきましては、営業利益は、当第2四半期に役員退職慰労引当金繰入額 314,000 千円を計上したこと等により、1,233,906 千円(前年同期の 83.9%)となりました。経常利益は、1,265,887 千円(前年同期の 83.8%)、四半期純利益は、880,633 千円(前年同期の 70.5%)と減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、9,036,255 千円となり、前事業年度末に比べ 1,983,771 千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものであります。

固定資産は、44,102,005 千円となり、前事業年度末に比べ 1,000,018 千円の減少となりました。これは主に、長期貸付金の減少によるものであります。

(負債)

流動負債は、1,313,540 千円となり、前事業年度末に比べ 72,784 千円の減少となりました。これは主に、未払金の減少によるものであります。

固定負債は、5,383,322 千円となり、前事業年度末に比べ 288,566 千円の増加となりました。これは主に、役員退職慰労引当金の計上によるものであります。

(純資産)

純資産は、46,441,399 千円となり、前事業年度末に比べ 767,971 千円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物は、前年同四半期累計期間末に比べ 2,739,289 千円増加し、7,010,057 千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,722,879 千円の収入(前年同四半期累計期間に比べ 324,509 千円の収入の増加)となりました。これは主に、税引前四半期純利益 1,269,986 千円、減価償却費 511,082 千円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、478,400 千円の収入(前年同四半期累計期間に比べ 398,792 千円の収入の増加)となりました。これは主に、貸付金の回収による収入 2,771,905 千円、有形固定資産の取得による支出 2,426,504 千円によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、141,533 千円の支出(前年同四半期累計期間に比べ 8,341 千円の支出の増加)となりました。これは主に、配当金の支払い 141,533 千円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 31 年3月期の業績予想につきましては、平成 30 年5月 11 日(平成 30 年3月期決算短信(非連結)に記載しております)発表のとおり推移しており変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成30年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日) |
|-------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,446,675 | 7,510,057 |
| 受取手形 | 446,295 | 311,382 |
| 売掛金 | 450,232 | 400,450 |
| 商品 | 682,441 | 740,644 |
| その他 | 30,235 | 76,550 |
| 貸倒引当金 | △3,396 | △2,830 |
| 流動資産合計 | 7,052,484 | 9,036,255 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 14,365,383 | 14,736,580 |
| 土地 | 25,596,722 | 26,997,984 |
| その他(純額) | 463,981 | 419,009 |
| 有形固定資産合計 | 40,426,087 | 42,153,574 |
| 無形固定資産 | 1,089,248 | 1,089,053 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 401,693 | 418,504 |
| 長期貸付金 | 2,771,905 | - |
| その他 | 631,276 | 640,070 |
| 貸倒引当金 | △218,187 | △199,197 |
| 投資その他の資産合計 | 3,586,688 | 859,378 |
| 固定資産合計 | 45,102,024 | 44,102,005 |
| 資産合計 | 52,154,508 | 53,138,261 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 266,461 | 291,243 |
| 未払法人税等 | 355,418 | 461,127 |
| 賞与引当金 | 16,020 | 17,754 |
| その他 | 748,425 | 543,416 |
| 流動負債合計 | 1,386,325 | 1,313,540 |
| 固定負債 | | |
| 役員退職慰労引当金 | - | 314,000 |
| 長期預り敷金 | 5,077,487 | 5,051,859 |
| 資産除去債務 | 17,267 | 17,463 |
| 固定負債合計 | 5,094,755 | 5,383,322 |
| 負債合計 | 6,481,080 | 6,696,862 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成30年3月31日) | 当第2四半期会計期間 (平成30年9月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 3,887,500 | 3,887,500 |
| 資本剰余金 | 4,947,500 | 4,947,500 |
| 利益剰余金 | 37,180,307 | 37,919,408 |
| 自己株式 | △420,754 | △420,754 |
| 株主資本合計 | 45,594,553 | 46,333,653 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 87,611 | 101,915 |
| 繰延ヘッジ損益 | △8,736 | 5,829 |
| 評価・換算差額等合計 | 78,874 | 107,745 |
| 純資産合計 | 45,673,427 | 46,441,399 |
| 負債純資産合計 | 52,154,508 | 53,138,261 |

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) |
|--------------|---|---|
| 売上高 | 4,701,295 | 4,528,662 |
| 売上原価 | 2,837,494 | 2,542,180 |
| 売上総利益 | 1,863,801 | 1,986,482 |
| 販売費及び一般管理費 | 393,050 | 752,575 |
| 営業利益 | 1,470,750 | 1,233,906 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8,768 | 1,504 |
| 受取配当金 | 6,043 | 6,124 |
| 貸倒引当金戻入額 | 13,566 | 19,555 |
| 雑収入 | 10,853 | 3,612 |
| その他 | 3,360 | 1,271 |
| 営業外収益合計 | 42,591 | 32,069 |
| 営業外費用 | | |
| 商品廃棄損 | 2,584 | - |
| 雑損失 | 62 | 88 |
| 営業外費用合計 | 2,646 | 88 |
| 経常利益 | 1,510,694 | 1,265,887 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 303,163 | 170 |
| 投資有価証券売却益 | - | 6,200 |
| 特別利益合計 | 303,163 | 6,370 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 7,324 | 2,271 |
| 特別損失合計 | 7,324 | 2,271 |
| 税引前四半期純利益 | 1,806,534 | 1,269,986 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 499,446 | 422,022 |
| 法人税等調整額 | 58,823 | △32,669 |
| 法人税等合計 | 558,269 | 389,352 |
| 四半期純利益 | 1,248,264 | 880,633 |

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日) | 当第2四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前四半期純利益 | 1,806,534 | 1,269,986 |
| 減価償却費 | 507,296 | 511,082 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 992 | 1,734 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △13,566 | △19,555 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | △4,966 | - |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | - | 314,000 |
| 前払年金費用の増減額(△は増加) | △3,582 | △2,254 |
| 受取利息及び受取配当金 | △14,811 | △7,629 |
| 為替差損益(△は益) | 2,526 | △3,634 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | - | △6,200 |
| 有形固定資産除却損 | 7,324 | 2,271 |
| 有形固定資産売却損益(△は益) | △303,163 | △170 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 92,500 | 184,694 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △2,166 | △58,202 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △82,192 | 24,781 |
| 長期預り敷金の増減額(△は減少) | 20,832 | △25,628 |
| その他 | △45,640 | △147,786 |
| 小計 | 1,967,915 | 2,037,487 |
| 利息及び配当金の受取額 | 14,725 | 7,600 |
| 法人税等の支払額 | △584,271 | △322,208 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,398,370 | 1,722,879 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △345,460 | - |
| 定期預金の払戻による収入 | 224,380 | - |
| 投資有価証券の売却による収入 | - | 10,000 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △561,414 | △2,426,504 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 679,102 | 123,000 |
| 貸付けによる支出 | △352,000 | - |
| 貸付金の回収による収入 | 435,000 | 2,771,905 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 79,607 | 478,400 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | △426 | - |
| 配当金の支払額 | △132,765 | △141,533 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △133,191 | △141,533 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △2,526 | 3,634 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 1,342,259 | 2,063,381 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,928,508 | 4,946,675 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,270,767 | 7,010,057 |

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

(『税効果会計に係る会計基準』の一部改正)(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(役員退職慰労金制度の制定)

当社は、平成30年9月に役員退職慰労金制度を制定し、当第2四半期累計期間に役員退職慰労引当金繰入額及び役員退職慰労引当金を計上しております。